



ライオンズクラブ国際協会
333-E 地区 1R3Z

Hitachi Omiya Lions Club

右記QRコードから
ホームページを
ダウンロードできます



事務局 〒313-0061 常陸太田市中城町3210 常陸太田市商工会館内 TEL 0294(32)7172 FAX 0294(32)7173
https://www.e-clubhouse.org/sites/hitachi_omiya/

時代を担う青少年の育成 ~コロナ禍の中でも子供たちが活躍!~

スナッグゴルフは、市教育委員会に協賛して行っている当クラブの特色ある活動です。今年度当クラブが主催した「常陸大宮市小学校対抗スナッグゴルフ大会」は、市内の小学校の交流を深める機会となりました。そして、当クラブ会員が監督・コーチをつとめ支援している大宮小学校が、日頃の練習の成果を發揮して優勝しました。

社会貢献

題字「社会貢献」常陸大宮ライオンズクラブ会員
栗田 裕(雅号 悠藻) 書



地域の皆様とともに歩む
ライオンズクラブ
常陸大宮ライオンズクラブ会長
寺門 直人

常陸大宮ライオンズクラブは、今年で結成53年を迎えました。地域の皆様には、この間当クラブの活動に対して、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年からのコロナ禍が続いておりませんが、今年はまだ違う状況で非日常が日常になっていくような気がいたします。残念ですが、「ウィズ・コロナ」の時代です。このような大変な時代だからこそ、私たちは一致団結し、知恵を出し合い、創意工夫

をしながら奉仕活動をしなればと思います。今年度は様々なクラブ行事が中止、又は規制されてしまいました。その限られた範囲の中で献血推進活動や薬物乱用防止教室の実施、そして環境保全活動、スナッグゴルフなど青少年健全育成事業を行いました。今後もクラブ会員、そして地域の皆様との絆を大切に、活動を続けていきたいと思っております。皆様方には、今後ともなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

児童熱戦 スナッグゴルフ

常陸大宮 大宮小V「みんなで協力」

常陸大宮市小学校対抗スナッグゴルフ大会が21日、同市小場の静ヒルズカントリークラブで開かれ、市内の小学生55人が参加し、ナイスショットを放つて熱戦を繰り広げた。優勝は大宮小が飾り、2位に山方小、3位に大宮西小が入った。主催したのは常陸大宮ライオンズクラブ(寺門直人会長)。これまで市教委とスナッグゴルフ教室を開き、小学生にゴルフの基本となる競技の指導に努め、



優勝した大宮小の子どもたち。常陸大宮市小場の静ヒルズカントリークラブ



学校対抗で競いながら、スナッグゴルフを楽しむ常陸大宮市の小学生。同市小場の静ヒルズカントリークラブ

を繰り広げた。優勝は大宮小が飾り、2位に山方小、3位に大宮西小が入った。主催したのは常陸大宮ライオンズクラブ(寺門直人会長)。これまで市教委とスナッグゴルフ教室を開き、小学生にゴルフの基本となる競技の指導に努め、

スナッグゴルフ教室を開き、小学生にゴルフの基本となる競技の指導に努め、

2020年(令和2年)9月25日付茨城新聞



子供たちに大きな夢を

平野 啓太郎

昨年のスナッグゴルフ全国大会が、コロナ禍の影響によって中止になり、一生懸命に練習してきた子供たち、特に6年生には悲しい思いをさせてしまいました。今年は感染症対策をして、JGT(日本ゴルフツアー機構)主催の全国大

会を開催する予定です。ただ、例年のように沢山のスポンサー企業が、大会を支援・協賛してくれる状況ではないようです。松山英樹選手が世界最高のマスターズトーナメントで優勝し、日本中を熱狂させました。また女子ゴルフ

では、20歳前後の女子プロが活躍して、日本のトーナメントを盛り上げています。今年こそ、ゴルフという競技を普及発展させる絶好の機会であり、スナッグゴルフに関心と興味を持っている子供たちが、将来の夢をふくらませることになると思います。私たちはコロナ禍の中、子供たちの健康を守り、その夢を一緒に追いかけて、喜びと苦しみを共有できる喜



市学校対抗スナッグゴルフ大会(大宮小チームと監督・コーチ)



スナッグゴルフ東日本小学生大会(5年表彰:大宮小チーム)

びに満足しています。スナッグゴルフという、何処でも誰でも出来るスポーツ

を、多くの方々が楽しませることを希望いたします。



献血推進活動



青少年健全育成事業



常陸大宮ライオンズクラブ 会長スローガン

『協調と感謝の心で奉仕の輪 ～時代のニーズに合わせたクラブ運営～』

奨学基金寄附

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止にいたしました当クラブ主催による「第38回チャリティーゴルフ大会」が、本年は、感染対策を行うことにより4月13日、無事に開催できました。当日は、春風が肌に心地よいなか静ヒルズカントリークラブを会場に、153名



鈴木市長への贈呈式

という多数の参加をいただきました。このコロナ禍におきまして、趣旨をご理解いただき参加いただいた皆様、協力いただきました関係各位には、誠に感謝申し上げます。お陰様で、静ヒルズカントリークラブ様のご協賛と、参加いただきました皆様からの善意により、常陸大宮

萩野谷 勉

環境保全委員会



ロードクリーンナップ作戦

1968年のクラブ結成以来、「We Serve: われわれは奉仕する」をモットーに、さまざまな社会奉仕活動を行って参りました。なかでも、7月の久慈川と那珂川での「河川の一斉クリーンナップ」と、9月の国道118号線と293号線での「ロードクリーンナップ作戦」は、毎年実施している活動です。今年度は、コロナ禍により、中学生や地域の方々と一緒に行っていた「河川の一斉クリーンナップ」が中止となつてしまいました。が、「ロードクリーンナップ作戦」はクラブ会員で実施しました。近年、道路沿いのごみは少なくなつてきています。ところが、今年度集められたごみは例年よりも多かつたです。また、コロナ禍の影響なのかごみの中には、マスク

鯉淵 一志

献血推進委員会

常陸大宮ライオンズでは茨城県赤十字センターに協力して、イオン常陸大宮店や常陸大宮市役所を会場に、毎月継続して献血を実施しております。また、11月3日の「常陸大宮市ふれあい広場」に参加して、地域の皆様に献血を呼び掛けております。今年度はコロナ禍により「ふれあい広場」が中止となり、イオン常陸大宮店献血はコロナ感染防止を行い、予定通り実施することが出来ました。大勢の方の善意で提供されている貴重な血液。新型コロナウイルスの影響で、その血液が不足しています。「人間を救うのは人間だ」日本赤十字社の事業推進・献血推進のスローガンです。今日、少子高齢化により献血可能な年齢の割合が減少し、輸血用血液が不足しています。輸血を必要とする方のために、当クラブ結成時からの「献血推進活動」により一層取り組んで参りたいと思います。16歳から可能な献血に、多くの皆様のご協力をお願い致します。黒澤 明雄



イオン常陸大宮店献血

薬物乱用防止委員会

最近、若者の間に大麻乱用拡大の傾向が見られます。それは、カナダでの大麻解禁がニュースになったり、覚醒剤やコカインと比較して、大麻には依存性や身体への害が少ないなどという間違った情報が出回っているからかもしれません。大麻による検挙者はここ数年急増しており、その半数近くが30歳未満の若者で、高校生や中学生のみならず、小学生の検挙者も発生しております。特に、喫煙経験のある子供の場合、タバコを吸う行為が大麻を吸うことへ変わったただけだと捉え、大麻に対する抵抗感が低くなっているようです。私たちがライオンズクラブは、「ゲートウェイドラッグ」といわれるタバコや大麻などの薬物の害や、恐ろしさを知ってもらうために、薬物乱用防止教室を開催しております。薬物の誘いを察知し、判断する能力を養い、断り方や断つた後の対処法などもしっかりと伝えていきたいと思っております。寺門 直人



薬物乱用防止教室



スナッグゴルフ

常陸大宮市では、教育委員会がスナッグゴルフの大会や教室を開催するとともに、多くの小学校でスナッグゴルフを導入しています。当クラブでは、スナッグゴルフを青少年健全育成事業のひとつと位置づけ、教育委員会に協賛して支援指導を行っています。その活動の一つは、JGT Oカップ全国大会出場を目指している小学生に対する、練習等の指導や大会支援です。二つは、市スナッグゴルフ小学生教室における、講師や会場準備です。三つは、市スナッグゴルフ大会における、スアラーや賞品提供です。今年度はコロナ禍のために、子供たちが目標としていた全国大会や関連する大会が中止となりました。その代わりとして、新たに「市小学校対抗スナッグゴルフ大会」や「東日本小学生大会」を開催して、子供たちが競い合うことができました。ウィズコロナの大会でも、自分のベストプレーを目指して、闘志を燃やす姿が見られ感動しました。JGT Oカップ全国大会に連続出場している大宮小学校をはじめ、スナッグゴルフをする小学生が、年々増えていることはうれしい限りです。栗田 裕



市学校対抗スナッグゴルフ大会

常陸大宮ライオンズクラブ会員

- | | | | |
|------|------|-----|------|
| 石井直人 | 大賀明 | 岡崎良 | 加藤憲 |
| 金田久子 | 神永克也 | 川田喜 | 池田泉 |
| 菊池裕司 | 北富則之 | 栗田義 | 黒澤明 |
| 桑名大輔 | 鯉淵一志 | 後藤三 | 坂佐幸 |
| 助川弘勝 | 鈴木邦彦 | 藤田三 | 高澤元 |
| 川勝秀人 | 寺門直人 | 山達也 | 仲田宣 |
| 瀧正久 | 長嶋和雄 | 本茂幸 | 萩野谷順 |
| 萩野谷勉 | 萩野谷勝 | 平野啓 | 萩野谷敬 |
| 三村勝昭 | | | |

あとがき

コロナ禍の不安の中、今年度のクラブスローガン及び継続事業が地域に密着しながら実施され、成果をあげる事が出来たと思っております。特に、三役メンバーに感謝致します。次年度は、世の中の大きな変化の中で新三役メンバーが新しいニーズに引き合い、邁進してくれる事を期待したいと思います。

萩野谷 勝夫